

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後デイみんと

公表日 令和8年2月16日

利用児童数 15( 利用保護者数14)

回収数 12(80.0%)

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8	3	1	0	・夏休みは狭そう(部屋) ・部屋が少し狭い気がします。(利用人数が多い時は) ・もう少し広くても良いと思います。	・ご意見ありがとうございます。体育館やグラウンド、個室等を活用しております。今後も狭さを感じさせない様に努めていきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	7	2	1	2	・利用できない日(子ども)がいるようなので、職員数を増やしてもらえると良い。	・ご意見ありがとうございます。利用日に関しては各々のご家族様とご相談させていただいております。利用日数の増減に関しましては、ご相談いただけたら対応を行います。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	1	0	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11	1	0	0		
適切な支援の提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9	3	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9	2	0	1		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	10	2	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9	3	0	0		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10	1	0	1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9	3	0	0		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	2	4	2	4		
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11	1	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10	2	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	3	0	3		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達について共通理解ができていると思いますか。	10	2	0	0	・いつも丁寧に連絡帳に記入していただいたり、電話をその都度していただいて共通理解や把握ができている状態で安心しています。	・今後も安心してご利用していただけるよう、共通理解に努めていきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	3	0	0	・相談事があると、その都度相談して、アドバイスや方向性を教えていただけるので助かっています。	・これからも相談しやすい雰囲気作りを努めていきます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10	1	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	4	0	4	・きょうだいへの支援はされているか不明です。	・保護者会等やきょうだいへの支援は行っていません。今後、必要な場合には検討していきます。
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	2	0	0	・急な仕事が入ったり、お迎えが遅くなった場合でも対応していただけるので本当に感謝しています。	・いつもご利用いただきありがとうございます。
	20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9	3	0	0		
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8	2	0	2	・素敵な写真を見せていただけて、色々な活動も考えていただけて嬉しいです。	・ありがとうございます。今後も子ども達が楽しみながら学ぶ事が出来る活動を検討します。
22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11	0	0	1			
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5	3	0	4		
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4	2	0	6		
	25 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7	2	0	3		
	26 事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8	3	0	1		
27 子どもは安心感をもって通所していますか。	12	0	0	0			

満足度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	11	0	0	1	・楽しみにしながら通っています。ありがとうございます。	・みんなへの通所を楽しみにしていただきありがとうございます。これからも子ども達の楽しいを汲み取りながら、支援を行います。
	29	事業所の支援に満足していますか。	10	1	0	1	・いつもありがとうございます。	・ご利用いただきありがとうございます。

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	放課後デイみんと				公表日	令和 8年 2月 16日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	0	3	・テレビを壁掛けに変更したことで、以前に比べると少しスペースが広がっている。	○わからない=1名 ・大部屋、小部屋以外に個別支援の部屋があると個々に対応できる。 ・定員数全員が活動するには、少し狭いように思う。 ・少し狭いと思う時がある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	2		・応援の支援者（男性一人）の配置があれば余裕が出てくる。 ・利用人数や利用者の状態等により、もう一人いてほしいと思うことがある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	1		・車椅子が通るには入り口が狭い
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	・毎日掃除を実施している。 ・活動内容により机等を動かして空間の確保を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	1	・活動により場所を使い分けるようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	0		○わからない=1名
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0		○わからない=1名
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	・毎朝ミーティングを行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	2	・第三者評価は行っていない	○わからない=1名 ・外部評価は行っていない
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	0	・定期的に職員での勉強会(研修動画の視聴等)を実施している。	○わからない=1名
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	0		○わからない=1名 ・支援プログラムの作成、公表を行う。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3	0		○わからない=1名
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	0		○わからない=1名
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	0	・全職員へ計画書の共有をしている。	○わからない=1名
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	0		○わからない=1名
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	0		○わからない=1名
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	0	・毎月の活動内容や長期休暇の活動等、職員間で相談して決めている。	○わからない=1名
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	0		○わからない=1名
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3	0		○わからない=1名

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	0	・毎日のミーティングで、1日の流れ等を確認している。	〇わからない=1名
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	0	・支援終了後には行っていないが、翌日のミーティングの際に、振り返りや今後の対応等について情報共有を行っている。	〇わからない=1名
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	0		〇わからない=1名
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	2	1		〇わからない=1名
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3	0		〇わからない=1名
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	0	・児発管が参加している。	〇わからない=1名
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	0		〇わからない=1名
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	0	・必要に応じて電話連絡等を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	0		〇わからない=1名
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	0		〇わからない=1名
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	1	・この地域に児童発達支援センターがない。	〇わからない=1名
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	3		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	2		〇わからない=1名
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	1		〇わからない=1名
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	0		〇わからない=1名
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	0		〇わからない=1名
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3	0		〇わからない=1名
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	1		・親子活動を実施予定であったが、感染症等の影響で未実施である。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	0		〇わからない=1名
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	0	・定期的にみんと通信を発行し、様子をお伝えしている。	〇わからない=1名

	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	2		〇わからない=1名
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	0		〇わからない=1名
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	0		〇わからない=1名
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0	・緊急時や園外活動時等に持ち出す事が出来るよう、リスト化している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	1	・食物アレルギーのある利用者は弁当を持参している為、食事を提供する機会がない。	〇わからない=1名 ・指示書は頂いていない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	0	・毎月避難訓練があるのが良いと思う	〇わからない=1名
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	1		・安全計画に基づいて取り組みを行っているが、家族への周知は不十分である。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	0		〇わからない=1名

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後デイみんと		
○保護者評価実施期間	令和7年11月1日		～ 令和7年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	令和7年11月1日		～ 令和7年11月12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月22日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・事業所単独ではなく児、者の施設が併設されている為、研修を受ける機会が多々ある。また同じ建物内に児童部がある為、みんとの利用者について把握している職員が多く、緊急時の応援体制が取りやすい。	・研修への参加の促しを行う。 ・研修の積極的な受講を行う。 ・短期入所や日中一時支援を利用している児童もいる為、食事の様子等の共有を図る。	・研修参加者から不参加者への助言をもらう。 ・他事業所への見学を行う。
2	・職員が少人数なので情報共有しやすく、何事にもチームで取り組む事が出来る。	・日々のミーティングで細やかな情報交換を行っている。 ・毎月の予定や長期休暇の予定等、職員間で相談し決定している。	・ケース記録、計画書、会議録などの情報共有をする。
3	・養護学校が隣接している。また近隣の学校へ迎えに行く為その日の情報が入りやすい。見学等もすることが出来、開かれた事業所である。	・定期的な会議の開催。 ・こまめな情報共有。	・地域に合わせたニーズの掘り起こし。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・時間帯により(送迎等)職員が少ない事がある為、充実した活動(利用者の希望する活動)が出来ないことがある。 ・限られたスペースの為、状況に応じたクールダウン等への個別対応が難しい事がある。	・利用者人数に対しての職員の対応人数。(特に長期休暇) ・2部屋で過ごしている為、個室空間の確保が出来ていない。	・利用者の状況(人数等)に応じて他部署からの応援を依頼する。 ・同じ建物内に児童部がある為、空室等を使用して個室空間の確保を図る。
2	・保護者研修の開催。	・職員各々のスキルアップ。	・職員の知識の向上。 ・職員の研修参加。
3	・事業所の各々のマニュアル(感染症、防犯、事故防止、緊急時対応等)は整備されているが、ご家族への周知等が不十分である。	・発信不足。	・広報誌にマニュアルに応じた取り組みなど(感染症、防犯、事故防止の取り組み等)を載せ、外部に向けてわかりやすいように努める。